

Enzyme Engineering XXII

September 22-26, 2013 TOYAMA, JAPAN

第22回 酵素工学国際会議

日 程：平成 25 年 9 月 22 日(日)～26 日(木)
 主 催：酵素工学研究会、Engineering Conferences International(ECI)
 大 会 長：浅野 泰久(富山県立大学教授)
 副 会 長：小川 順(京都大学教授)、八十原 良彦(株式会社力ネカ)
 場 所：富山国際会議場 [富山県富山市大手町 1-2 電話 / 076-424-5931]
 参 加 費：有料
 問 合 せ 先：enzyme-22@meetingdesign.jp

会議ホームページ www.engconfintl.org/13ae.html

基調講演：David Rice (The University of Sheffield, UK)
 講 演：Romas Kazlauskas (University of Minnesota, USA)
 Stefan Lutz (Emory University, USA)
 Uwe Bornscheuer (University of Greifswald, Germany)
 小川 順(京都大学)
 長棟輝行(東京大学)
 西山 真(東京大学)
 平竹 潤(京都大学) 他

本会議は、酵素機能を活用した有用物質生産法の研究開発およびその生物工学的基盤研究について、最先端の成果を報告・議論することを目的としており、Engineering Conferences International(ECI) が主催する国際会議の中でも最も歴史が古く、世界中から多くの研究者が参加する権威ある会議の1つです。わが国は、歴史的に数々の酵素の産業利用を達成するとともに、1981年に第6回、1989年に第10回の本会議を開催し、世界の酵素工学研究を牽引して来ましたが、本会議は近年20年間以上わが国で開催されておらず、その間の技術な進展と世界的競争の激化には著しいものがあります。

また、酵素工学は環境にやさしい物質生産法の基盤となる研究領域であり、その重要性は増加する一方です。この度、本会議を20年以上ぶりで日本開催とし、富山に招致致しました。バイオテクノロジーの中心に位置づけられる酵素工学が、世界の研究者によって多面的かつ包括的に意見・情報交換され、富山の産業分野においても活発な交流に発展していくことを切に期待します。



Takaoka



Toyama International Conference Center



Gokayama, The World Heritage